

哲学プラクティスに関する資料および教材をつくる

12 各種メディアの取材を受けました

「正解のなさ」を一緒に楽しもう。アーダコーダ代表・角田将太郎さんに聞く、哲学対話がビジネスと私たちにもたらす価値とは？ 代表理事 角田将太郎インタビュー

Webメディア「WORK MILL」
こちらからご覧いただけます



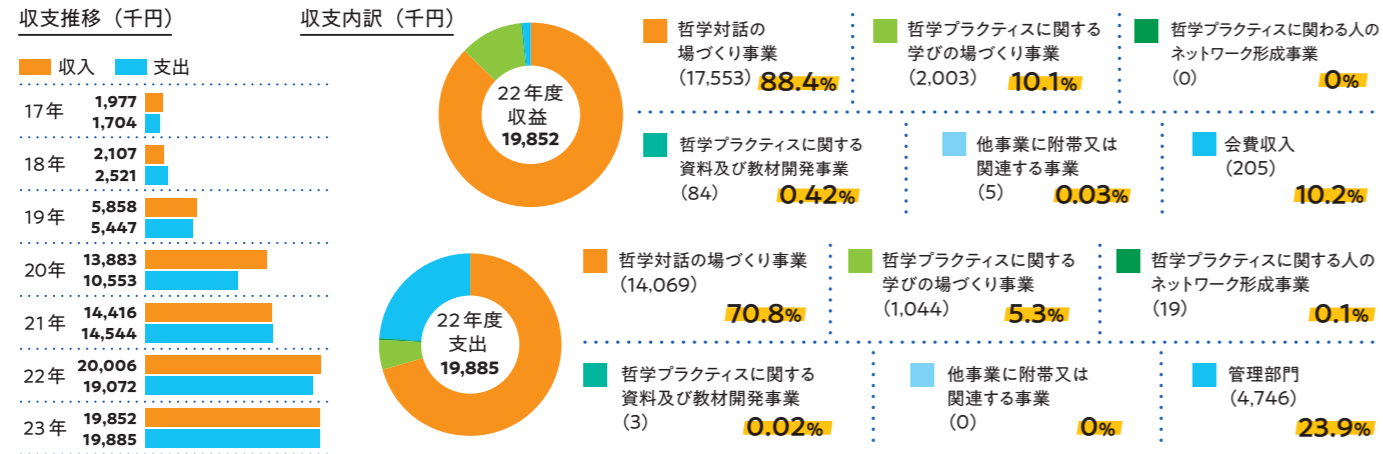
「考える力を育む「正解」のない問いに向き合う学問」。親子で哲学対話をしてみよう」

理事 天野美和子インタビュー

「アデック知力育成教室」ホームページの「育児コラム」
こちらからご覧いただけます



13 会計報告



代表メッセージ

代表理事 角田 将太郎

1995年生まれ。千葉県出身。県立船橋高校、東京大学教養学部卒業、東京大学大学院総合文化研究科修士課程在籍。哲学対話の実践と研究を往復しながら、互いに配慮し合いながら共に考える場をつくる方法について探究している。学校や企業、美術館や自治体など様々な場所で哲学対話のファシリテーターの経験がある。

2023年度は様々な学校の先生方の実施される哲学対話や探究の授業のサポートや、こども家庭庁が行うこども意見ファシリテーター養成講座の開発への協力など、アーダコーダのこれまでの実績や知見をもとに各所の取り組みをご支援させていただく機会が大きく増えました。また、それだけでなく、実際に現場でファシリテーターを務める機会も多くなりました。2024年度は多様化のご相談やご依頼に応じるため、ファシリテーターの育成にさらに力を入れていきます。今後も引き続きアーダコーダの活動への応援をよろしくお願いします！

団体概要

正式名称 特定非営利活動法人
 英語名 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ
 Philosophical Practice ardacoda
 所在地 〒251-0038 神奈川県藤沢市鶴沼
 松が岡4丁目6番18号2F
 代表理事 角田 将太郎
 設立 2014年6月

特定非営利活動法人 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダは、哲学対話を社会の中で実践的に活用するためのスキルやプログラムを提供するNPO法人です。アーダコーダの哲学対話は、幼稚園に通う子どもたちから年配の方まで対象年齢を問いません。毎日の暮らしの中にある疑問や不思議のタネについて、あーだこーだと考えを交換し、お互いが時間をかけて考えを深めることができる時間を提供します。

賛助会員募集

アーダコーダでは、小さな活動を積み重ねていくために、ご支援をお願いしています。会員特典として、ご希望があれば、アーダコーダfacebookページにて、賛助会員が携わる「哲学対話」に関するイベント情報を掲載いたします。入会方法など詳しくはこちらをご覧ください。

<https://ardacoda.com/donation/>

特定非営利活動法人
こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ

MAIL info@ardacoda.com



WEB <https://ardacoda.com>



ANNUAL REPORT 2023

2023年度
年次報告書



こども哲学 おとな哲学
アーダコーダ

哲学対話、こども哲学、哲学カフェの場をつくる

1 学校での「哲学対話」に力を入れて取り組んでいます！

今年度も、小学校、中学校、高校などで「哲学対話」を実施。2020年度より哲学対話の授業、2022年度から総合的な探究の時間の授業（年間50コマ）を実施している藤沢翔陵高等学校では、12月に探究中間発表会を実施。1年生は問いをポスター掲示し、2年生は探究の成果を発表しました。「映画のタイトルはどのようにして決められているか？」「高校生の愛はいつ生まれるのか？」など生徒それぞれの関心に基づいた幅広いテーマの発表が行われました。3年以上の継続実施校が増える一方で、宮崎大宮高校や船橋高等学校など新たに実施した学校もあり、授業や教員研修など様々な「哲学対話」の機会をつくりました。



藤沢翔陵高等学校 横須賀学院小学校

2023年度に実施した学校

計 **10** 校

- ・横須賀学院小学校（神奈川県・私立）
- ・湘南学園小学校（神奈川県・私立）
- ・武蔵野大学高等学校（東京・私立）
- ・中津北高等学校（大分・県立）
- ・藤沢翔陵高等学校（神奈川県・私立）
- ・成田国際高等学校（千葉県・県立）
- ・山手学院中学校・高等学校（神奈川県・私立）
- ・足利清風高等学校（栃木・県立）
- ・宮崎大宮高校（宮崎・県立）
- ・船橋高等学校（千葉県・県立）

2 東京都子供政策連携室による子供の「遊び」に関する調査・検討に協力しました

KPMGコンサルティング株式会社が受託した東京都子供政策連携室による子供の「遊び」に関する調査・検討に協力。ヒアリングマニュアルの作成に対して助言を行い、21箇所の公園やプレーパーク、児童館などに出向き、延べ200人以上の子どもたちから遊び場に対する考えや想いをヒアリングしました。



3 映画「ぼくたちの哲学教室」と多数コラボしました！

2023年5月に日本公開されたドキュメンタリー映画「ぼくたちの哲学教室」。「平和の壁」に分断された街、北アイルランド・ベルファストにて、不安定で不透明な世界を生きている子どもたちとケヴィン校長の「哲学」の授業を記録したこの映画とさまざまなコラボの機会を持ちました！

① パンフレットにコラム掲載

パンフレットに副代表理事井尻貴子が執筆したコラム「『ぼくたちの哲学教室』と「こどものための哲学（P4C）」」を掲載いただきました。

② オンライントーク「映画『ぼくたちの哲学教室』と「こどもの哲学」とあれこれ」を開催
本映画の字幕監修者である開智国際大学専任講師の西山溪さんと、映画の配給会社代表である石橋秀彦さんのお二人をゲストにお迎えし、映画についてあれこれお話を伺いました。

③ 横須賀学院小学校にて特別授業を実施（アーダコーダはコーディネートを担当）

映画公開に合わせて来日したケヴィン校長が横須賀学院小学校にて特別授業を実施。5、6年生の希望者23人と、「ともだち」「ゆるし」について対話しました。この様子は神奈川新聞「かながわワイド」でも紹介されました。



映画「ぼくたちの哲学教室」
© Solisú Films, Aisling Productions, Clin d'oeil Films, Zedig Productions, MMXXI



オンライントーク



特別授業

4 さまざまな場所で、こども哲学を実施しました

ワークショップ「てつがくする？」

主催：NPO法人CANVAS、対象：幼児、小学生

こども哲学 at「島の教育会議2023」

主催：隠岐島前教育魅力化プロジェクト、対象：小学生

特別授業 at 栃木県小山市の地域子ども学習会

主催：地域子ども学習会、対象：小中学生

こども哲学教室ソフィー

主催：NPO法人アーダコーダ、対象：小学生

“子どもによる”“子どものための”「ジモトガイド」制作ワークショップ

佐野市（ジモトガイド発行：株式会社キッズスター、協力：佐野市、対象：小学生）

ほか

シンプルな「こども哲学」のほか、ワークショップや特別授業など場に応じて多彩なプログラムを提供。さまざまな場所で、皆で問い、話し、考える時間をもちました。また、今年度より主催事業として毎月1回「こども哲学教室ソフィー@オンライン」を開講。8月には夏休みイベントとして、すみだ水族館でドキドキワクワクのこども哲学を行いました。



ワークショップ「てつがくする？」



こども哲学 at 「島の教育会議2023」



こども哲学教室ソフィー

5 多様なシーンで、哲学カフェを実施しました

「金曜夜の哲学カフェ」at 都市にひそむミエナイモノ展
SusHi Tech Square 主催：東京都

1月～3月に開催された「都市にひそむミエナイモノ展」にて、会期中のほぼ毎週金曜日に実施。アーダコーダは「ふらりといつでも」タイプを担当、計8回哲学カフェを行いました。

PLAN75シネマ哲学カフェ

主催：科学研究費助成事業基盤研究(B) 課題番号 22H00603「生命操作の倫理—生と死の自己決定をめぐって」研究代表者 田坂さつき

9月末に立正大学にて開催。映画を観た後、対話し、約60名が参加。アーダコーダが一部のグループのファシリテーターを務めました。

アーダコーダ哲学カフェ
主催：NPO法人アーダコーダ

ほか



金曜夜の哲学カフェ

哲学プラクティスに関する学びの場をつくる

6 アーダコーダ学生インターンの活動が活発化しています！

半期ごとにインターン生を募集。高校生～大学院生が集まり、主に、下記の活動に取り組んでいます。

- ①「10代のための哲学対話部」運営（東京大学UTCPとの共催イベントとして、対面でも実施）
- ②「競技型哲学対話の大会」企画運営
- ③ 哲学プラクティスに関心のある学生のネットワーク形成
- ④ 上記に関する活動、および中高大生に向けた哲学対話認知アップに関わるあらゆる活動

2023年度に活動したインターン生 **のべ9** 名

インターン生の声

- ・自分でも哲学対話のイベントを開いてみたいとインターンに参加しました。告知文やレポートを作るといった事務的なことから、対話の進行役まで行うことができたので自分の糧となる経験をたくさん積めたと思います！
- ・高校生から大学院生まで幅広く関心を持ったインターン生同士で交流でき、自分たちの企画の運営を通じて「哲学対話とは何か？」といった問いについて考える良い機会になりました。

7 「こども哲学ファシリテーター養成講座（初級編）」、今年も大好評いただきました

内容をアップデートし、今年度もオンラインにて開講いたしました。

2023年度 **計3** 回開催 修了生年間 **46** 人ほど (のべ人数)

受講生の声

- ・勤務先の中学校で実践してみたいと思いました。
- ・実際に進行役ができたことがとても楽しく勉強になりました。
- ・講座を受けて出てきた疑問に、各講師の方が自分の経験を交えてお話しくださったことが、とても心に残りました。

8 各地で、出張講座も開催いたしました

「こども哲学やこども哲学のファシリテーションについて学びたい」という依頼をいただき、各企画に合わせた内容で出張講座を開催いたしました。

子どもの主体的な対話を支える保育者のファシリテーションスキル 主催：フレーベル館
みんなで人権を考える講座「子どもの主体性を大切にすると対話を学ぶ」 主催：東京都荒川区生涯学習課 ほか



9 ビジネス哲学対研修も実施しました

ビジネスシーンでも継続して注目が集まっている哲学対話。各研修の目的等に応じてオーダーメイドで実施しています。

株式会社エクセル・システムプロダクト

入社1～3年目社員を対象に4時間のビジネス哲学対話研修を実施。「経過と結果どっちが大切？」などの問いについて哲学対話を行い、これまで交流のあまりなかった社員間で考えや想いを交わし合う時間となりました。

哲学プラクティスに関する人のネットワークをつくる

10 哲学プラクティスあれこれゆるゆるトーク、38回目を迎えました！

2020年に開始し、ほぼ毎月1回オンラインにて開催、2023年度3月で38回目を迎えました。また1月～3月はアーダコーダによる「学校での哲学対話シリーズ」として、学校に関わっているアーダコーダーが話題提供をし、話し、考える場を持ちました。

11 講座修了生交流会を開催しました

こども哲学ファシリテーター養成講座を修了された皆さんとオンライン交流会を開催、こども哲学をめぐり、近況報告、情報交換、おしゃべりなどを楽しみました。